

牧之原市地域防災訓練について

1 目的

自分と家族の命を自ら守る「自助」と、皆で助け合い支えあう「共助」を自らの意志と判断に基づいて行動する。また、これまで積み上げてきた地域防災の取り組みを総点検し、大規模災害に耐えうる防災体制の再構築を行い、「減災」の実現を図る。

今回は、災害時における消防・自衛隊等との連携強化を図るため、市民参加型の展示訓練を合わせて実施する。

2 日時 平成 27 年 12 月 6 日（日） 午前 9 時～正午（展示訓練は午前 8 時～）

※天候や自衛隊の諸事情等により、訓練が変更・中止となる場合があります。この場合は、訓練当日の午前 6 時 50 分に市ホームページでお知らせします。

3 訓練想定

駿河トラフから南海トラフまでを震源域とする大規模地震が発生し、牧之原市内において震度 7 を観測。建物崩壊、地盤の液状化、火災等のほか、まもなく大津波が襲来し、沿岸部を中心に著しい被害を受ける。

4 重点項目

- (1) 自らの命を守るためにとるべき行動の確認【自助】
- (2) 地域における協力体制の確認【共助】
- (3) 地域の災害特性をふまえた実践的な訓練

5 訓練内容（別添資料参照）

- (1) 地域防災訓練
 - ・「自主防災会訓練実施計画」
- (2) 市民参加型の展示訓練
 - ・「広報まきのはら 11 月号」
 - ・「各訓練個別計画」

6 展示訓練の取材について

- (1) 訓練車両の往来等がありますので、取材は一般見学者の見学エリアからお願いいたします。また、取材の際は社名の分かる腕章・名札等をご着用ください。
- (2) 訓練当日は、訓練本部を榛原文化センター事務室内に置きます。
【電話番号：(0548) 23-0070、23-0072、23-0073】
- (3) 訓練会場（榛原庁舎及び榛原総合運動公園の敷地内）には駐車できませんので、別添資料にあります駐車場をご利用ください。また、午前 7 時 30 分から正午までは、榛原庁舎前道路を交通規制しますのでご注意ください。

平成27年度 牧之原市地域防災訓練 自主防災会訓練実施計画

区・町内会名	訓練実施責任者	訓練場所	訓練連絡先	訓練内容	参加予定
相良区	阿部 一博	相良コミュニティ防災センター	52-4545	情報伝達、初期消火、応急救護、炊き出し、可搬ポンプ操作、要配慮者安否確認	450
福岡区	増田 秀雄	津島神社境内避難地		情報伝達、避難誘導、初期消火、炊き出し、可搬ポンプ操作、要配慮者安否確認、家庭内対策の呼びかけ	178
波津区	種茂 和男	小堤山公園（波津区指定緊急避難場所）		情報伝達、避難誘導	10
波津第1	佐々木 森雄	小堤山公園		情報伝達、避難誘導、初期消火、救出・救助、炊き出し、資機材操作・点検、要配慮者安否確認、リヤカーによる搬送	320
波津第2	松下 優	小堤山公園、防災研修センター		情報伝達、避難誘導、初期消火、炊き出し、資機材操作・点検、要配慮者安否確認、給水タンクの水替え、センタースロープを利用した車いす操作	275
波津第3	増田 道則	波津公園		情報伝達、避難誘導、炊き出し、資機材操作・点検、要配慮者安否確認、避難場所確認、自宅防災資機材の確認、土のう配付、市訓練視察	350
波津第4	戸塚 武	大原公民館南側広場		情報伝達、初期消火、炊き出し、資機材操作・点検、可搬ポンプ操作、要配慮者安否確認、仮設テント・トイレ設置、	311
須々木区	原田 俊二	須々木区民館 他2会場	52-4487	情報伝達、避難誘導、初期消火、応急救護、救出・救助、炊き出し、資機材操作・点検、可搬ポンプ操作、要配慮者安否確認、濾水機取扱訓練、土のうづくり・土のう積み訓練	517
大沢区	赤堀 文男	総合グラウンド南駐車場		情報伝達、避難誘導、初期消火、応急救護、炊き出し、資機材操作・点検、可搬ポンプ操作、要配慮者安否確認	520
大江区	矢部 明弘	大江区民会館	52-3229	情報伝達、避難誘導、初期消火、要配慮者安否確認、消火器を用いた消火訓練、給水用浄水器の取扱訓練、消防団による放水訓練	475
片浜区	藤田 忠弘	片浜コミュニティ防災センター		情報伝達、避難誘導、初期消火、救出・救助、炊き出し、資機材操作・点検、可搬ポンプ操作	350
菅山区	増田 文男	菅山小学校、各組避難場所	52-0558	情報伝達、避難誘導、初期消火、応急救護、救出・救助、炊き出し、資機材操作・点検、可搬ポンプ操作、要配慮者安否確認、煙避難訓練	680
中里区	杉田 睦夫	萩間小学校裏駐車場		情報伝達、避難誘導、初期消火、救出・救助、炊き出し、可搬ポンプ操作、要配慮者安否確認	187
白井区	大石 順一	白井区公民館及び広場	54-0859	情報伝達、避難誘導、初期消火、応急救護、救出・救助、炊き出し、資機材操作・点検、可搬ポンプ操作、要配慮者安否確認、テント設営、土のうづくり、消火器取扱訓練（子ども対象）	129
神寄区	森田 武	大寄公民館、女神広場		情報伝達、避難誘導、資機材操作・点検、可搬ポンプ操作、要配慮者安否確認、避難時チェックリスト作成、県資料「そのとき、あなたは？」の全員配付と組ごとの話し合いを実施	236
西萩間区	藤野 幸雄	西萩間公民館		情報伝達、避難誘導、初期消火、炊き出し、資機材操作・点検（チェーンソー、発電機、照明器具）、可搬ポンプ操作、要配慮者安否確認、福祉施設（清風園）との要配慮者搬送、組立式トイレ設営、簡易テント組み立て	152

区・町内会名	訓練実施責任者	訓練場所	訓練連絡先	訓練内容	参加予定
東 萩 間 区	源 間 克 寿	東萩間公会堂広場		情報伝達、避難誘導、初期消火、救出・救助、炊き出し、資機材操作・点検、可搬ポンプ操作、要配慮者安否確認	160
牧之原区（相良）	高 畑 治 郎	牧之原区民センター		情報伝達、避難誘導、炊き出し、資機材操作・点検、可搬ポンプ操作、要配慮者安否確認、仮設テント設置、仮設トイレ設置	475
地 頭 方 区	原 崎 久 春	釣月院駐車場（第1本部）		情報伝達、避難誘導、初期消火、応急救護、救出・救助、炊き出し、資機材操作・点検、可搬ポンプ操作、要配慮者安否確認、避難所運営ビデオ視聴	550
落 居 区	植 田 茂 喜	第3指定緊急避難場所		情報伝達、避難誘導、初期消火、応急救護、炊き出し、資機材操作・点検、要配慮者安否確認、消火栓の点検及び開閉	200
豊 岡 区	植 田 英 樹	豊岡公民館、笠名公民館		情報伝達、避難誘導、初期消火、応急救護、炊き出し、資機材操作・点検、可搬ポンプ操作、要配慮者安否確認	246
新 庄 区	原 口 保	新庄区池グラウンド避難場所		情報伝達、避難誘導、初期消火、応急救護、救出・救助、炊き出し、資機材操作・点検、可搬ポンプ操作、要配慮者安否確認、家庭における防災対策、防潮扉開閉、濾水機による浄水・給水	320
遠 渡 区	小 栗 清 行	トンネル公園（臨港線のトンネル上） 原口亭隣		情報伝達、誘導訓練、初期消火、応急救護、救出・救助、炊き出し、資機材操作・点検、可搬ポンプ操作、要配慮者安否確認、仮設トイレ設置	354
静 波 区	内 藤 利 春	静波体育館		情報伝達、実動型避難所運営訓練	57
静 波 1 丁 目	鈴 木 篤	榛原高等学校第2グラウンド駐車場		情報伝達、避難誘導、炊き出し、資機材操作・点検、要配慮者安否確認	168
静 波 2 丁 目	加 藤 和 幸	静波2丁目公民館	22-5365	情報伝達、避難誘導、資機材操作・点検、要配慮者安否確認	330
静 波 3 丁 目	大 石 雅 文	静波3丁目ポケットパーク		情報伝達、避難誘導、資機材操作・点検、市防災訓練視察	74
静 波 4 丁 目	柴 田 和 宏	4丁目公民館		情報伝達、避難誘導、炊き出し、資機材操作・点検、可搬ポンプ操作、要配慮者安否確認	265
静 波 東 5 丁 目	吉 村 操	東5丁目公民館	22-5950	情報伝達、避難誘導、初期消火、炊き出し、可搬ポンプ操作、要配慮者安否確認	272
静 波 西 5 丁 目	野 中 美 見	西5丁目公民館	22-4724	情報伝達、避難誘導、初期消火、炊き出し、資機材操作・点検、要配慮者安否確認、地元町内会在住の消防職員の指導による初期消火訓練	174
静 波 6 丁 目	八 木 孝	6丁目公民館		情報伝達、避難誘導、初期消火、炊き出し、資機材操作・点検、可搬ポンプ操作、要配慮者安否確認	116
静 波 仲 町	中 西 富 士 夫	東光寺	22-6580	情報伝達、避難誘導、炊き出し、資機材操作・点検、要配慮者安否確認	117
静 波 10 丁 目	池 田 徹	10丁目公民館 津波避難タワー（b）		情報伝達、避難誘導、資機材操作・点検、要配慮者安否確認、防災ビデオ視聴	135
静 波 11 丁 目	尾 崎 法 久	服織田神社、市役所駐車場（視察）		情報伝達、避難誘導、要配慮者安否確認	135
静 波 12 丁 目	鈴 木 勉	榛原文化センター		情報伝達、避難誘導、要配慮者安否確認、市防災訓練視察	69
細 江 区	加 藤 勝 美	細江コミュニティセンター	22-7195	情報伝達、避難誘導、資機材操作・点検	25
東 慶 林	八 木 昭 博	津波避難タワー、東慶林公園		情報伝達、初期消火、救出・救助、炊き出し、可搬ポンプ操作、テント設営（小中学生、高校生）	110
県 営 住 宅	櫻 井 一 人	県営住宅駐車場及び集会室		情報伝達、避難誘導	65

区・町内会名	訓練実施責任者	訓練場所	訓練連絡先	訓練内容	参加予定
青 池	田代 丈晴	青池公民館、細江小学校、円成寺 駐車場、榛原公園駐車場		情報伝達訓、避難誘導、炊き出し、要配慮者安否確認	300
寄 子	有田 義雄	寄子公民館		情報伝達、避難誘導、初期消火、救出・救助、炊き出し、資機材操作・点検、可搬 ポンプ操作、要配慮者安否確認	166
西 福 田	只井 三好	西福田公民館		情報伝達、初期消火、炊き出し、可搬ポンプ操作	120
東 福 田	鈴木 正志	神明神社境内		情報伝達、避難誘導、初期消火、炊き出し、可搬ポンプ操作	160
根 松	山村 英之	榛原総合病院西側駐車場 根松公民館前		情報伝達、避難誘導、炊き出し、要配慮者安否確認	62
堀 の 内	知久 敬司	堀之内研修センター	22-1440	情報伝達、避難誘導、初期消火、炊き出し、資機材操作・点検、可搬ポンプ操作、 要配慮者安否確認	180
時 ケ 谷	榎田 紀男	時ヶ谷公民館		情報伝達、避難誘導、炊き出し、資機材操作・点検、可搬ポンプ操作、要配慮者安 否確認	200
道 上	橋本 正美	榛原総合病院北側駐車場 →道上公民館		情報伝達、初期消火、応急救護、炊き出し、要配慮者安否確認、仮設トイレ組立訓 練、備蓄水交換	275
後 原	澤戸 俊二	二ノ谷避難場所		情報伝達、避難誘導、救出・救助、炊き出し、資機材操作・点検、要配慮者安否確	152
谷 の 口	峯野 幸彦	円成寺駐車場		情報伝達、避難誘導、要配慮者安否確認、折りたたみ布担架の実施訓練、バケツ消 火リレーの実施訓練、非常持出品携帯避難訓練	220
川 崎 区	勝田 利郎	川崎コミュニティ防災センター	22-7532	情報伝達	5
橋 向	蒔田 一廣	橋向公民館、第1～3避難場所	22-5375	情報伝達、避難誘導、初期消火、炊き出し、資機材操作・点検、要配慮者安否確認	260
藤 沢	望月 弘一郎	藤沢公民館		情報伝達、避難誘導、初期消火、炊き出し、要配慮者安否確認	132
橋 柄	山崎 輝雄	橋柄公民館	22-5918	情報伝達、初期消火、炊き出し、資機材操作・点検、要配慮者安否確認	94
新 戸	永田 義男	新戸公民館	22-0824	情報伝達、避難誘導、初期消火、炊き出し、資機材操作・点検、要配慮者安否確 認、家庭の防災対策（家具転倒防止ほか）、大石製作所による講習（吉田町）	108
庄 内	枝村 明	庄内公民館		情報伝達、避難誘導、初期消火、応急救護、炊き出し、資機材操作・点検	60
鹿 島	大石 幸男	鹿島公民館		情報伝達、避難誘導、初期消火、炊き出し、資機材操作・点検、消火栓点検	80
日 機 装	斉藤 直樹	日機装社宅前		情報伝達、避難誘導	10
仁 田	神谷 好一	ぐりんぱる及びその周辺		除法伝達、避難誘導、市防災訓練（救護所運営訓練）	257
道 場	西澤 道晴	道場地内		情報伝達、避難誘導、炊き出し、要配慮者安否確認、消火器取扱訓練（消防団員指 導）、消火栓取扱説明（消防団員指導）	239
追 廻	榛地 計明	追廻公民館		情報伝達、炊き出し、資機材操作・点検、可搬ポンプ操作、危険箇所の周知及び点 検場所の確認、防犯灯や街路灯の場所の確認及び点検、消火栓及び貯水槽の点検	49
勝 間 田 区	木下 勝朗	勝間田会館	28-0201	情報伝達、資機材操作・点検	6
中	浅野 精一	中公民館		情報伝達、避難誘導、炊き出し、資機材操作・点検、可搬ポンプ操作、要配慮者安 否確認、テント設営、黄色いハンカチ作戦、消火栓点検	200
勝 間 下	小原 幸浩	勝間下公民館		情報伝達、避難誘導、応急救護、炊き出し、資機材操作・点検	240
勝 間 上	飯塚 高英	勝間上公民館		情報伝達、避難誘導、資機材操作・点検	95

区・町内会名	訓練実施責任者	訓練場所	訓練連絡先	訓練内容	参加予定
切山下	沢田直巳	切山下農業研修センター		情報伝達、避難誘導、炊き出し、資機材操作・点検、可搬ポンプ操作、要配慮者安否確認	97
切山中	村松孝啓	切山中公民館		情報伝達、避難誘導、初期消火（消火器、バケツリレー）、炊き出し、可搬ポンプ操作、要配慮者安否確認	64
勝田上	服部力	エコグリーン勝間田隣接地		情報伝達、吉田榛原消防署による応急救護訓練講習（AED中心）	85
勝田下	大石明宏	勝田下公民館		情報伝達、避難誘導、初期消火、救出・救助、炊き出し、資機材操作・点検、可搬ポンプ操作、要配慮者安否確認	60
三栗	飯塚明雄	三栗農業研修会館		情報伝達、避難誘導、初期消火、炊き出し、可搬ポンプ操作、要配慮者安否確認	200
朝生	本杉弘一	朝生公民館、指定緊急避難場所		情報伝達、避難誘導、初期消火（小中学生、高校生を対象）、炊き出し、資機材操作・点検、可搬ポンプ操作、要配慮者安否確認、市防災訓練視察	325
牧之原区（榛原）	原田松男	牧之原区コミュニティセンター		情報伝達、炊き出し、資機材操作・点検	15
牧之原北	大崎信博	牧之原北公民館 六本松水道タンク前		情報伝達、初期消火（消火器使用訓練）、資機材操作・点検、可搬ポンプ操作、要配慮者安否確認、発煙筒使用・利用方法の確認	130
布引原	伊藤潤一	布引原集会所東側		情報伝達、避難誘導、炊き出し、資機材操作・点検、可搬ポンプ操作、要配慮者安否確認、黄色いハンカチ作戦	125
牧之原中央	羽柴勝次	牧之原中央町内会集会所	27-3712	情報伝達、炊き出し、資機材操作・点検、可搬ポンプ操作、要配慮者安否確認	110
牧之原南	門奈正敏	牧之原南公民館		情報伝達、避難誘導、炊き出し、資機材操作・点検、要配慮者安否確認	116
坂部区	大石吉彦	坂部区民センター	29-0201	情報伝達、避難誘導、資機材操作・点検、坂部小学校体育館設置のガス発電等の点	8
坂部第1	水嶋八束	坂1町内会公民館		情報伝達、避難誘導、初期消火、応急救護、炊き出し、資機材操作・点検、要配慮者安否確認	169
坂部第2	大石盛男	坂2町内会農業センター		情報伝達、避難誘導、応急救護、炊き出し、資機材操作・点検、要配慮者安否確認、各班指定緊急避難場所における各戸安否確認、飲料水（ポリタンク）の入替作	170
坂部第3	須藤孝夫	坂3町内会農業センター		情報伝達、初期消火、救出・救助、炊き出し、資機材操作・点検、要配慮者安否確	149
坂部第4	関友明	坂4町内会公民館		情報伝達、避難誘導、初期消火、炊き出し、資機材操作・点検、要配慮者安否確認、公民館の上水道断水時に水洗トイレを使用できるようにする作業手順確認及び	119
坂部第5	池ヶ谷勝恵茂	坂5町内会公民館	29-1636	情報伝達、避難誘導、炊き出し、資機材操作・点検、可搬ポンプ操作、要配慮者安否確認、救助犬による訓練見学及び講演	140
坂部第6	岩根秀雄	坂6町内会公民館		情報伝達、初期消火、炊き出し、資機材操作・点検、可搬ポンプ操作、要配慮者安否確認	90

市民参加型

の展示訓練

「参加して」「見て」、
多くの「気づき」があります

会場・時間

主な訓練内容

静波グラウンド
午前8時～9時
▼自衛隊の偵察オートバイによる情報収集と、軽装甲機動車による孤立地域における倒壊家屋からの救出訓練
▼自衛隊との消防署、消防団が連携した救助・搬送訓練

静波体育館
午前9時～10時
▼静波区(中学生参加)による実動型避難所運営訓練

くりんばる
午前9時～11時30分
▼川崎区(中学生参加)、三師会による救護所運営訓練
▼自衛隊中型ヘリコプターなどによる拠点ヘリポートからの重傷者等の搬送訓練

榛原庁舎前
午前9時～正午
▼自衛隊と日赤奉仕団、中学生による炊出訓練
▼自衛隊車両と災害救助資機材の展示



4つの重点訓練事項

- ① 住民参加型の訓練
- ② 関係機関や団体との協力・連携
- ③ 将来の地域防災力の担い手(中学生)が参加
- ④ 自衛隊による資機材の展示や実演

訓練は震度7の大規模地震を想定

訓練は、駿河トラフから南海トラフを震源域とする大規模地震が発生し、市内において震度7を観測、建物倒壊など著しい被害を受けることを想定(災害の規模は、静岡県第4次地震被害想定「レベル2の地震」)します。

今回の訓練においては、津波被害は想定しません。

訓練の変更や中止

天候や災害の発生、自衛隊の事情などにより、急ぎよ訓練が変更や中止となる場合があります。その際は、訓練当日の午前6時50分に市のホームページでお知らせします。

市が誕生して10年となる節目の年に、今一度、市民の皆さんに防災意識を高めていただき、災害時における消防・自衛隊などとの協力や連携の強化を図るため、市民参加型の展示訓練を実施します。
訓練に参加するだけでなく、訓練を見学することで多くの「気づき」が得られます。

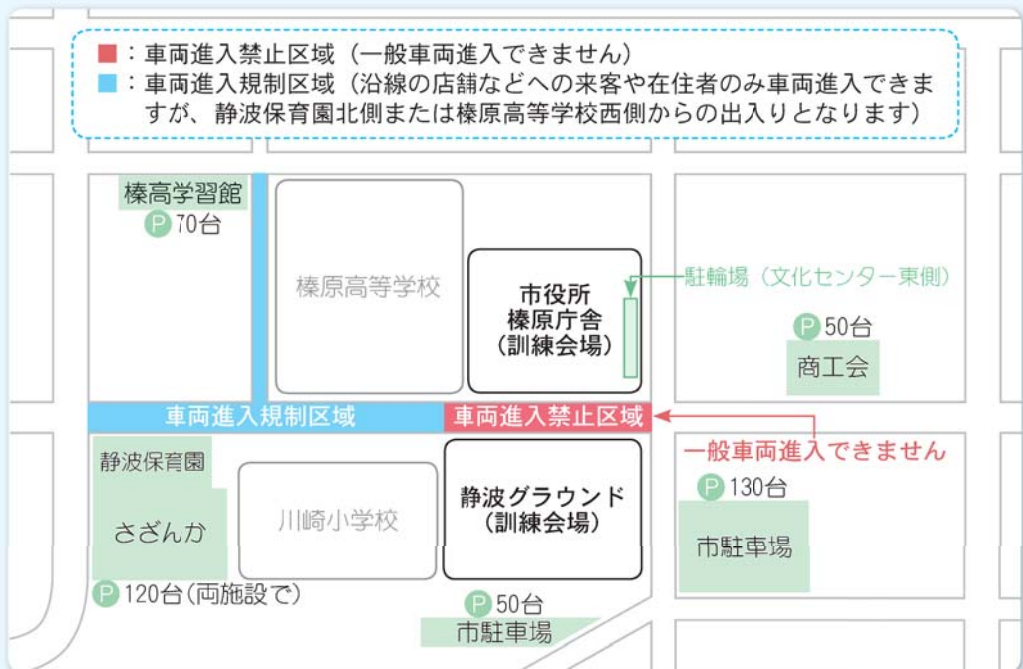
問い合わせ 危機管理課 増田 ☎(23) 0058

榛原総合運動公園くりんばる周辺



午前7時30分～正午
駐車場や駐輪場、車両交通規制

市役所榛原庁舎周辺



午前7時～午後0時30分
駐車場の開場時間
車両交通規制 午前7時30分～正午

●訓練参加機関や団体

陸上自衛隊第34普通科連隊、東部方面航空隊、榛原中学校、静波区、川崎区、牧之原市消防団、榛原医師会・榛原歯科医師会・榛原薬剤師会(三師会)、日赤奉仕団牧之原市地区、牧之原市災害ボランティアセンター、牧之原市、牧之原市相良消防本部

●協力

牧之原警察署、静岡県立榛原高等学校、牧之原市商工会、ハイナン農業協同組合、島田信用金庫榛原支店、大豊物流株式会社

間近ではめったに見られない大規模な訓練です。地域の訓練とあわせてぜひご覧ください。

**平成27年度牧之原市防災訓練
孤立地域の救出・救助訓練 個別計画（案）**

1 訓練の目的

発生が懸念される南海トラフ巨大地震などの広域的かつ巨大な地震災害が発生した際、孤立地域からの住民救出と受傷者等への措置について、救援部隊（自衛隊）と市（消防署・消防団）が協力・連携した訓練を実施し、迅速かつ円滑に救援を受け入れる体制を確保し、効率的・効果的な災害応急対策が実施できることを目的とする。

また、地域住民にも広く訓練部隊等の活動を展示し、捜索・救出活動の理解を深める。

2 訓練実施日時

平成27年12月6日（日） 午前8時～午前9時（予定）

3 訓練会場・訓練概要

訓練会場	訓練概要
静波グラウンド	<ul style="list-style-type: none"> ・自衛隊による偵察オートによる情報収集と、軽装甲機動車による孤立地域における倒壊家屋からの救出訓練 ・自衛隊と消防署、消防団が連携した救助・搬送訓練

*別添、訓練会場レイアウトを参照

4 訓練参加機関・団体

- (1) 陸上自衛隊第34普通科連隊
- (2) 牧之原市相良消防本部
- (3) 牧之原市消防団

5 訓練想定

駿河トラフから南海トラフを震源域とする大規模地震が発生し、牧之原市内において震度7を観測。建物倒壊など、著しい被害を受ける。

災害の規模は、静岡県第4次地震被害想定「レベル2の地震」を基本とするが、今回の訓練においては、津波被害は想定しない。

6 訓練シナリオ等（概要）

裏面のとおり

7 訓練の変更・中止

訓練を変更・中止する要件は、実施要項による。

また、当日のグラウンドコンディションにより、車両の乗り入れが困難と判断した場合は訓練を中止する。

訓練の変更・中止の判断は、訓練当日の午前6時30分とする。

<グラウンドコンディション不良の場合の対応>

榛原庁舎前にて、自衛隊による救出資機材を使用した倒壊家屋からの救出訓練のみ実施する。

孤立地域の救出・救助訓練 訓練シナリオ等（概要）

日 時	訓練シナリオ	実動行動	
1 2 月 5 日 (日)	7:00～ 7:30	バイク・車両待機場にて訓練車両（偵察オート、軽装甲機動車、救急車、消防団車両）スタンバイ	
	8:10～ 8:20	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練開始 ・市消防団による救出 ・偵察オートによる孤立地域の状況調査 <ol style="list-style-type: none"> ① 牧之原市内において震度7を観測。道路損傷や落橋、建物倒壊など、著しい被害が発生。 ② 孤立地域が発生し、同地域を市消防団員が警戒中、倒壊家屋の下敷きになっている市民3人を発見。2名を救出するも、一人は家屋に苛まれ救助できない。 ③ そこへ被害状況調査のため、自衛隊偵察オートが通りかかり、支援を要請。 ④ 無線により、本部へ状況報告し、救出部隊誘導の為、引き返す。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 家屋の下敷きになっている住民を消防団員が発見したところから訓練スタート。 ② 消防団員は、倒壊家屋の窓から2名を救出する。残り一名をどう救出するか、思索する。（消防団の実作業を展示） ③ そこへ通りかかった偵察オートを呼び止め、支援を要請する。 ④ 偵察オートの隊員は、無線により、中隊本部へ状況報告・応援要請を行う。
	8:20～ 8:30	<ul style="list-style-type: none"> ・軽機動車等による被災市民の救出 ・消防署員による被害状況確認と措置 <ol style="list-style-type: none"> ① 住民救出のため、偵察オートとともに軽装甲機動車が出動。 ② 同様の連絡を受けた相良消防本部の救急車も出動。 ③ 軽装甲機動車の隊員は現地到着後、災害救助資機材を使用し、残り一名の市民を救出する。 ④ すぐに手当てを行うも、当該市民は心肺停止であり、AEDによる措置を実施。心肺蘇生したが、長時間、家屋の下敷きになっていたため、クラッシュ症候群の疑いもあり、予防措置を実施。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 軽装甲機動車が出動し、消防車両が後続する（救急車は赤色灯のみ灯火）。 ② 倒壊家屋に残された市民は、マネキンで対応。 ③ 救出作業は自衛隊員により実施し、ケガの状況確認と手当ては相良消防本部により実施（自衛隊、消防署による実作業を展示）。 ④ 心肺蘇生措置のため、AEDを使用する。
	8:30～ 8:40	<p>救急車による受傷者搬送</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 必要な手当てを実施するため、救急車にて市救護所（榛原総合運動公園ぐりんぱる）への搬送を決定。 ② 自衛隊、消防署、消防団の協力により、重症者を救急車へ乗車させ、市救護所へ向け出発。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 到着後、救急隊員による応急措置を実施。このとき、救急機材等を使用展示。 ② 救急車は市役所榛原庁舎側出入口から道路へ出る。
	救急車が静波グラウンドを出たところで訓練は一時停止（救護所運営訓練へ引き継ぎ）	救急車は榛原総合運動公園ぐりんぱるへ向かい、所定の駐車場で待機。その後、避難所運営訓練へ参加。	

自衛隊車両等の展示（9:00～12:00）

訓練終了後、偵察オートと軽装甲機動車は、榛原庁舎前の所定位置に移動し、車両及び救助セット等を展示する。

自衛隊と消防団による救助資機材の訓練（9:00～10:00）

自衛隊員の指導の下、牧之原市消防団が保有する救助資機材を使用した救出訓練を実施する予定。

**平成27年度牧之原市防災訓練
実動型避難所運営訓練 個別計画（案）**

1 訓練の目的

地域防災力の向上と防災知識・技能向上を図るため、地域住民が参加する訓練を実施するとともに、若年層から防災意識の向上・地域防災力を充実させるため、中学生が積極的に参加する訓練を実施する。

また、本実動訓練に参加しない地域住民にも広く訓練を展示し、理解を深める。

2 訓練実施日時

平成27年12月6日（日） 午前9時～午前10時（予定）

3 訓練会場・訓練概要

訓練会場	訓練概要
静波体育館	実動型避難所運営訓練

*別添、訓練会場レイアウトを参照

4 訓練参加団体

- (1) 牧之原市立榛原中学校
- (2) 牧之原市静波区
- (3) 牧之原市災害ボランティアコーディネーター

5 訓練想定

駿河トラフから南海トラフを震源域とする大規模地震が発生し、牧之原市内において震度7を観測。建物倒壊など、著しい被害を受ける。

自宅等が被災した住民のため、静波区は静波体育館を避難所として開設・運営することとした。

災害の規模は、静岡県第4次地震被害想定「レベル2の地震」を基本とするが、今回の訓練においては、津波被害は想定しない。また、市が実施した応急危険度判定により、静波体育館は安全が確認されているものとする。

6 当日スケジュール（概要・予定）

時間	内容
8:50～9:00	訓練視察者が訓練会場へ入場
9:00～10:00	別に定めるシナリオに従い展示型訓練を実施 ・静波区民が自治会役と避難者役に分かれて訓練を実施する。 ・事態展開ごとに解説を入れながら、訓練を進行していく。
10:00～10:30	会場撤収、炊出訓練・資機材展示の視察

7 訓練の変更・中止

訓練を変更・中止する要件は、実施要項による。訓練の変更・中止の判断は、訓練当日の午前6時30分とする。

**平成27年度牧之原市防災訓練
自衛隊による炊出訓練・車両等の資機材展示 個別計画（案）**

1 訓練等の目的

炊出訓練では、救援部隊（自衛隊）と日赤奉仕団、中学生が共に訓練することで、災害時における地域と一体となった活動への理解を深める。

また、自衛隊の装備品等の展示や実演を通じ、災害時における救援部隊の対処・措置について住民の理解を深める。

2 訓練等の実施日時

平成27年12月6日（日） 午前9時～正午（予定）

3 訓練会場・訓練概要

訓練会場	訓練概要
榛原庁舎前広場	<ul style="list-style-type: none"> ・自衛隊と日赤奉仕団、中学生による炊出訓練（最大400食） ・自衛隊車両・災害救助資機材の展示

*別添、訓練会場レイアウトを参照

4 訓練参加機関・団体

- (1) 陸上自衛隊第34普通科連隊
- (2) 牧之原市立榛原中学校
- (3) 日赤奉仕団牧之原市地区

5 スケジュール（概要・予定）

時間	内容
～9:30	準備、自衛隊による炊出作業
9:30～正午	<ul style="list-style-type: none"> ・日赤奉仕団及び中学生による炊出・配膳作業 ・一般見学者への炊出作業展示と試食品の配膳
正午～	会場撤収

孤立地域の救出・救助訓練に参加した車両（偵察オート、軽装甲機動車）等は、訓練終了後に所定の場所で展示（正午までを予定）。

*別添、訓練会場レイアウトを参照

6 訓練等の変更・中止

訓練を変更・中止する要件は、実施要項による。

訓練の変更・中止の判断は、訓練当日の午前6時30分とする。

**平成27年度牧之原市防災訓練
救護所運営訓練・自衛隊中型ヘリによる搬送訓練 個別計画（案）**

1 訓練の目的

災害時に受傷者等が迅速かつ円滑に救援を受け入れる体制を確保し、効率的・効果的な災害応急対策が実施できるよう、救援部隊（自衛隊）、医療関係者、自治会、行政（消防署含む）が連携した訓練を実施する。

また、地域住民が参加する訓練を実施することで、地域防災力の向上と防災知識・技能向上を図るとともに、本実動訓練に参加しない地域住民にも広く訓練部隊等の活動を展示し、救護に関する理解を深める。

2 訓練実施日時

平成27年12月6日（日） 午前9時～午前11時30分（予定）

3 訓練会場・訓練概要

訓練会場	訓練概要
榛原総合運動公園 ぐりんぱる	<ul style="list-style-type: none"> ・川崎区（中学生参加）、三師会による救護所運営訓練 ・自衛隊中型ヘリの誘導と重傷者の搬送訓練

*別添、訓練会場レイアウトを参照

4 訓練参加機関・団体

- (1) 陸上自衛隊第一ヘリコプター隊
- (2) 牧之原市、牧之原市相良消防本部
- (3) 牧之原市立榛原中学校
- (4) 牧之原市川崎区
- (5) 榛原医師会、榛原歯科医師会、榛原薬剤師会（三師会）

5 協力団体

牧之原市消防団

6 訓練想定

駿河トラフから南海トラフを震源域とする大規模地震が発生し、牧之原市内において震度7を観測。建物倒壊など、著しい被害を受ける。

市では救護所を開設し、三師会や地元の川崎区などと協力し、市内から搬送されてくる受傷者への救急救護措置を実施する。

なお、災害の規模は静岡県第4次地震被害想定「レベル2の地震」を基本とするが、今回の訓練においては、津波被害は想定しない。

7 訓練シナリオ等（概要）

裏面のとおり

8 訓練の変更・中止

訓練を変更・中止する要件は、実施要項による。

また、当日のグラウンドコンディションにより、車両等の乗り入れが困難と判断した場合、また強風や視界不良等でヘリの運航が困難と判断した場合は、自衛隊中型ヘリによる搬送訓練を中止する（救護所運営訓練は実施）。

訓練の変更・中止の判断は、訓練当日の午前6時30分とする。

救護所運営訓練・自衛隊中型ヘリによる搬送訓練 訓練シナリオ等（概要）

日 時	訓練シナリオ	実動行動（その背景）等
～9:00		患者役メイク、ミーティング等の準備
9:00～ 9:30	全体ミーティング	
9:30～ 10:15	・訓練開始 ・救護所の運営 救護所へ搬送されてくる受傷者等へのトリアージや手当等を、三師会、川崎区、市が協力して実施。	三師会及び市（保健師等）、は救護者、川崎区役員は搬送者、その他の地域住民は患者として訓練参加。
10:15～ 10:30	重傷者の受け入れ・対処 ① 孤立地域にて救出された重傷者が、救急車により搬送される。 ② トリアージを実施するが、クラッシュ症候群の疑いがあり、判定は「赤」となる。 ③ 救護所内で応急措置を実施するが、災害拠点病院での至急の手当てが必要と判断。自衛隊ヘリでの搬送を、市災害対策本部へ要請し、およそ10～15分後のヘリ到着が伝達される。	① 静波グラウンドで実施した「孤立地域の救出・救助訓練」にて救出された重傷者が、市の救護所である当地に、救急車で運び込まれたとの想定。 ② 受付にて、救急隊員と医師とで容態等の引継ぎを実施する。 ③ 一連の訓練を実施しながら、担当者が訓練解説を実施。
10:30～ 10:40	自衛隊中型ヘリの誘導（重傷者の搬送） ① 自衛隊中型ヘリが離発着場に接近したら、誘導員（消防署員）により着陸誘導を実施。 （ヘリ着陸予定時刻：10時30分） ② 救護所で手当てを受けていた重傷者を、中学生が担架に乗せてヘリに搬送。 ③ ヘリの離陸準備完了後、誘導員（消防署員）により離陸誘導を実施。 （ヘリ離陸予定時刻：10時40分） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> グラウンドコンディション不良等の場合、ヘリ誘導訓練は中止。 この場合、引き続き救護所運営訓練を実施。 </div>	① 孤立地域におけるヘリ誘導を想定し、消防署員による誘導訓練を実施。 ② 災害時における貴重な役割を担う中学生4人による重傷者の搬送訓練を実施（ただし、実際には重傷者をヘリに搭乗させることは安全上できないので、ヘリ近くまで搬送し、搭乗したとの想定とする）。
10:40～ 11:30	引き続き救護所運営訓練の実施	

* 時刻、内容等は変更となる場合がある。

＜ヘリによる搬送訓練を中止する場合の重傷者の対処＞

救急車で救護所へ搬送された重傷者は、救護所で応急措置の後、再び救急車により災害拠点病院へ搬送するとの想定で訓練を実施する。